

文部科学省 理数学生応援プロジェクト「理系女性の意欲と個性に根ざした複線的教育」企画

平成 24 年度後期 特設授業のお知らせ！

本プロジェクトでは、特設授業を開設し、理系学生にとって必要なスキルを育成することを目的とした授業を行います。

サイエンス・ライティングを知っていますか？

サイエンス・ライティングとは、科学を執筆することです。文学作品を書くのでもなく、実験レポートを書くのでもありません。科学、つまり理数系の内容を、その内容に関する専門知識を持たない人にも解るように、記述することです。

そんなことは、科学雑誌や科学館のプロに任せておけばよいと思うかもしれませんが、実際、みなさんがレポートを書くときには、相手に基礎知識がないとか、専門用語が通じないという心配をすることはないでしょう。しかし、これから先、研究費を申請したり、就職活動をするときはどうでしょうか？ さらには社会人になって、自分の仕事を企画したり報告したりするときには、どうでしょうか？ 相手が理系でなかったり、理系でも専門が違ったりすることはいくらでもありそうです。

そういう相手に、自分の研究や仕事の内容を「正確かつわかりやすく伝える」力を身につけることは、皆さんのキャリアパスにとって重要です。また、自分の知識や考え方を見直すことにもつながります。

自分では理解しているつもりなのに、相手に正確に伝わらなかったという経験はありませんか？ 書くことは「伝える」ための活動すべての基本です。サイエンス・ライティングに関心を持たれた方は、ぜひ受講してみてください。

☆サイエンスライティング

【科目名】 理数特別講義演習 I [12N0059]、理数特別講義演習 II [12N0060]

【対象学生(標準履修学年)】 理系(理学部、生活科学部)1-4 年

【開講日時】 毎週水曜日 5・6 時限 13:20-14:50 (10 月 3 日より)

【場所】 理学部 2 号館 103 室 (IT ルーム 4)

【講師】 青山 聖子 (サイエンスライター、本学大学院人間文化創成科学研究科 理学専攻 非常勤講師)

文章を書くときには、文章の目的をはっきりさせ、読む相手を意識することが大切です。この講義では、理数系の内容を、わかりやすく(専門が違う人にもわかるように)伝えるには、どうしたらよいかを学びます。身近なテーマの課題を通して、ものの「形」や「しくみ」を伝える、時間を追って説明する、事実と自分の考えを分けて表現するなどの練習をします。課題は、できるだけ授業時間内に仕上げてもらい、受講生全員で読んで意見を交換するとともに、講師からコメントします。このプロセスを繰り返す中で、目的の文章力を身につけます。

理系の人は、文章に苦手意識を持っている人が多いかもしれませんが、しかし、理系の文章は文学作品とは違うので、心構えとポイントを知れば、だれでも伝わりやすい文章を書くことができます。また、課題を通して、理系の幅広い話題を知ることができます。理系女子の基礎力アップをめざす方、ぜひ受講を。

※この科目を履修する学生は、理数特別講義演習 I、II ともに履修して下さい。

本学大学院での青山先生の授業の課題作成例は、以下の URL でご覧になれますので、参考にしてください。

<http://cib.cf.ocha.ac.jp/KASOKU/jp/report/20100903.html>

<http://cib.cf.ocha.ac.jp/KASOKU/jp/report/20100317.html>

お茶の水女子大学 理数学生応援プロジェクト「理系女性の意欲と個性に根ざした複線的教育」

ホームページ: <http://www.sci.ocha.ac.jp/risuouen/> E-Mail: risuouen@cc.ocha.ac.jp